

北海道ミロク会計人会だより

悠久の大地

発行 者：北海道ミロク会計人会（札幌中央区 MJS 支社内）
発行責任者：中 村 泰 道
編集責任者：広報委員会 委員長 大 西 啓 二



主な記事

2020 年 年頭あいさつ	2	社員紹介	6
第 44 回全国統一研修会 函館大会開催	3	編集後記	6
統一研修会に参加して	4	委員会報告	7
記念旅行懇親パーティーに参加して	5	第 45 回定期総会 北見大会参加のお誘い	8
統一研修会函館大会ゴルフ大会に参加して	5	地区会だより	9
きたの泉	6	第三回ボブラの会～旭川開催～	11

表紙写真

函館は市電で主な観光地を網羅できるところが魅力です。湯の川温泉、十字街、函館ドックといろいろな行けます（競馬場まで行ける）。北海道で一番観光地として人におすすめできる街だと思います。

札幌地区会 大西啓二



2020年 年頭ごあいさつ

北海道ミロク会計人会
会長 中村 泰道

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は当会会務へのご協力、当会主催のイベント等へのご参加を賜り、誠にありがとうございました。

私中村は昨年の夏に、中原章博先生の後任として北海道ミロク会計人会の会長に就任いたしました。その直後に、「第44回全国統一研修会 函館大会」の開催と相成ったのでございますが、準備委員の先生方をはじめ、関係各位の心強いお力添えにより成功裡に終えることができました。手許の開催報告資料によりますと、参加申込者数が846人、基調講演参加者数が776人、各分科会の参加者合計が678人、懇親パーティー参加者数が511人と、過去最高水準の参加人数であったとでございます。

あらためまして、ご参加いただいた皆様、ご協力をいただいた皆様に厚く御礼申し上げます次第でございます。

さて、ミロク会計人は「(株)ミロク情報サービスのシステム（以下、「MJSシステム」）をご利用の税理士・公認会計士の先生方で組織された職業会計人の任意団体」で、「職業会計人の社会的地位の向上とその顧問先企業の発展に貢献することを活動方針」としている組織です（ミロク会計人会 WEB ページより）。

その理念を受け、北海道ミロク会計人会では、下記の2つを活動内容の柱としております。

- 会員の皆様の研鑽、情報収集、懇親のニーズにお応えすること。

- MJSシステムへの「愛を込めた、どぎつい」提言を行うこと。

このことは、就任直後の当会報やミロク会計人会のWEBページでも述べさせていただいておりますが、これら2つの柱がより具体的な活動の拠り所となるよう、ここではさらに私なりの現状分析を踏まえた以下の行動指針を加えたいと思います。

- 会計会のもつポテンシャルを如何にして会員の皆様のメリットに転換することができるかを模索し、それらをわかりやすく伝えること。

多くの専門家が会員となり、かつMJSという強力なバックアップ組織があるにもかかわらず、誰もが「是非入ろう」、「入らなければ損だ」といったような、分かりやすく積極的なメリットを見出せないでいる税理士先生も数多くいらっしゃるように私自身は感じております。また、私も含め、すでにあるメリットに実は気付いていなかったり、良く分かっていなかったりすることもある様に思います。もしそうであれば、それらを分かりやすく伝える工夫も必要になってくるのではないのでしょうか？

ミロク会計会の機関紙「税理士事務所CHANNEL」では、上記の行動指針と併せて、「今年のキーワード（一言）」として「日進月歩」という言葉を掲げました。

「日進月歩」の会計業界の荒波を乗り越える一助として、当会のメリットを最大限に享受していただけるように努めて参ります。皆様におかれましても、何卒、温かいご協力を賜れましたら幸いです。

新たな一年が皆様にとって良い年となりますようにお祈り申し上げます。

第44回全国統一研修会 函館大会 開催



第44回全国統一研修会 函館大会に参加して

総務委員長 服部 邦彦

令和1年10月17日、「新・維新～ようこそノスタルジック函館へ～」と題された第44回全国統一研修会函館大会に参加してまいりました。

なんとといっても、今回は平成20年9月以来11年ぶりの北海道会担当の大会です。1年以上前から準備してきた大会が予定通り開催出来るかドキドキでした。それは台風19号が接近してきて直撃を受けそうな状況だったからです。しかし幸いなことに大会の直前に通過してくれました（全国各地に大きな被害が発生した事は残念なことでした）。あとは、私に課せられた仕事（式典とケント・ギルバートさんの記念講演会の司会）をミス無くこなすことのみが目標となりましたが、そちらも相方の元ミス函館の土井みずきさんがフォローしてくれまして無事に終

えることができました。その後は各分科会に分かれ（私はシステム開発委員会の第1分科会）18時30分からは懇親パーティーです。すっかりリラックスしてパーティーの料理を味わい、アトラクションを楽しませていただきました。

パーティー終了後は北海道会の参加者で大いに盛り上がりまして、函館市の夜を堪能した次第です。

翌日の18日はプライベートで、五稜郭公園や函館山の夜景などを楽しみましたし、全日程で天候にも恵まれまして、素晴らしい大会であったと思います。

最後に、参加いただきました北海道会の会員の皆様、素晴らしい大会の準備にご協力いただきました函館地区会会員の皆様と連合会事務局、札幌支社の皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。



▲基調講演司会の服部邦彦先生と土井みずきさん



▲第二分科会の様子



▲第三分科会の様子



▲第四分科会の様子



▲基調講演の様子



▲懇親パーティーの様子

統一研修会に参加して

令和初の統一研修会が、函館国際ホテルで行われ、私自身、転職4年目にして初めて参加いたしました。プライベートではよく訪れる函館ですが、仕事で行くのは初めてで、行く前からお土産は何を買おうか、お昼は何を食べようか等々、全くの観光気分でした。結局、朝市の閉店時間前に間に合い、函館名物活イカ丼、不謹慎ながらガラビーなるものを1杯、酔い覚ましに駒ヶ岳牛乳ソフトまで食してしまいました。

お腹も満足して、ホテル入りすると、ミロクの職員さん達が待ち構えていて、スムーズに受け付けと思いきや、会場横で出店されていた、道内地ビールメーカー様の試飲コーナーに引き寄せられて、数杯飲んでしまい、気分上々で第一分科会会場へ入りました。

今回参加しました、第一分科会の「凄いぞ！相続税申告書システム新機能」ですが講師の先生のテンポの良い解説がわかりやすく、レジュメも充実しており、早速事務所内で活用させていただいております。また本年10月スタートの相続税電子申告のポイントや、さらにタイトルとは離れて、会計大将の改正消費税対応までご説明いただきました。



札幌地区会 斎藤 隆

意外と真面目に受講したあとは、懇親パーティーへと続き、基調講演でお話しされたケント・ギルバートさんが壇上に上がり、私が子供の頃に見たクイズ番組で出演されていた当時と変わらず、楽しいトークで場を和ませていただきました。食事も道産の食材にこだわったおもてなし感満載のディナーを堪能しました。

懇親パーティー後は2次会、3次会と函館の夜を満喫し、翌日の仕事のことをすっかり忘れて飲み明かしました。

今回、この研修会にお電話でお誘いいただきました、ミロク札幌のAさんをはじめ、(すいません、あのときは正直渋っていました。)関係された皆様方に感謝申し上げます。



▲懇親パーティーの様子



▲第一分科会の様子



▲郷土物産展の様子



▲懇親パーティー司会の浦田敏仁先生と土井みずきさん



▲木村香澄さんによる江差追分



▲郷土芸能函館巴太鼓振興会による函館巴太鼓



▲函館学生連合～息吹～

記念旅行懇親パーティーに参加して



記念旅行は11年前の旭川での懇親会参加以来途絶えていた私と妻、他会の皆様を北海道で歓迎できるのは自身の年齢ではこれがラスト？だから、旅行の一部分でも参加したい！だが、妻の体調を考えると団体行動は無理！やむなく網走から1,490km、人生最長距離の運転でした。

ごく一部分の参加でしたが、皆様へのおススメは「きじひき高原」の眺望。大沼・駒ヶ岳が目前に、左に羊蹄、右には函館、更には岩木山が。その夜の懇親パーティーは函館大沼プリンスホテルでフルコース。連合会顧問夫妻ということで、第45回を担当される九州会熊本地区会の皆様とメインテーブルでゲスト待遇！恐縮しました(*ノwノ) 事務局に感謝し、報告といたします。

北見地区会 中原 章博

統一研修会函館大会 ゴルフ大会に参加して



苫小牧・室蘭地区会
小 熊 達 也

今年の全国統一研修会は函館にて開催されました。私は、初めての全国統一研修会参加だったので、ついでにとゴルフ大会にも参加させていただきました。

ゴルフ場は、女子トーナメント「ニッポンハムレディスクラシック」が開催されたことでも有名なアンビックス函館倶楽部上磯コースで、北斗市の海に近い丘陵地にあり函館湾や駒ヶ岳を眺めながら楽しくプレーできるコースでした。そんな眺望絶佳を楽しめるからなのか、某番付上位の関取は7時間ぐらいかけてプレーしたとのこと。驚い



たのは、なんとその方は右手だけで打っていたらしいのです。なんでも両手でクラブを持てなかったとか。こんなプチ情報をキャディーさんから聞きながら皆さんと楽しくラウンドした結果はというと、一人反省会を開きリベンジを誓いました。

～ 悠久の大地 表紙写真募集!! ～

広報委員会にて年に2回発行している「悠久の大地」の表紙写真を募集いたします。写真を趣味としている方、素敵な写真をお持ちの方、是非事務局までご連絡ください。皆様のご応募心よりお待ちしております!!



きたの泉

私の趣味



私の趣味は毎日の晩酌や釣り、囲碁、蕎麦打ち、旅行、音楽鑑賞などで、人並みですが、現在も諸先輩に交じり参加させていただいております。

5年ほど前から始めた蕎麦打ちは、妻から「土・日家でござろしてないで、“蕎麦打ち”でも通ったらどう？ 私もいろいろするから、あなたも」という半強制的な言葉で、道新蕎麦打ち教室に通い現在は札幌蕎麦道会に所属し蕎麦を打っています。

習い始めの頃はとても蕎麦とは言えない代物で、ゆでる前からボロボロになる始末で家でもどうしてこんなに切れるのとよく妻から酷評されました。

蕎麦も正直なもので、美味しい蕎麦になるためには基本を何度も繰り返す練習が必要です。熱心な人は上達が早く、私などは後輩に追い越される有様でしたが、それも最近、やっ

とそこそこに打てるようになりましたが、家では逆に総量2キロの蕎麦を持ち帰ることから飽きられてしまい、せっかくの蕎麦も食しきれず、冷凍庫にはいつも蕎麦が眠っています。

ですが、目標の更科そばを打てるようになるまではと思っており、次の土曜日も蕎麦打ちがあるので、費消のため朝、妻に「夕食に冷凍の蕎麦を食べる」といったところ、「あなただけにして」の言葉に冷凍蕎麦を冷蔵庫に移し替え、原稿を打ちながらどうやって一人で食べようか考えているところです。

札幌地区会 町屋敷 秀勝



MJS 社員紹介



営業第三グループ 岩倉 知佳

10月に横浜支社より異動してまいりました、岩倉と申します。初めての北海道生活のため、慣れない点も多いですが、持ち前のポジティブさで会計士会やMJSを盛り上げていきたいと思っております。皆様との縁を大切に、今後も精進を重ねていきたいと思っております。これからどうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

悠久の大地（令和元年9月発行、令和2年1月発行）、チャンネル令和元年8月号共に函館の写真が表紙となりました。9月の悠久の大地の表紙は札幌支社の長嶋さんのものを使わせて頂きました。大変助かりました。

函館の先生、函館出身のMJSの社員さんには大変お世話になりました。その長嶋さんも令和元年9月で退社されさびしい限りです。

しかし、新しい会員、社員さんがこの穴を埋めてくれると信じております。

広報委員会 委員長 大西 啓二

委員会報告

総務委員会活動報告

会員の皆様におかれましては日頃より総務委員会活動に、ご協力いただきまして、ありがとうございます。

総務委員会の主な仕事である会員増強につきましては今期も順調に推移しております。先日（10月28日）には札幌支社で総務委員会を開催しまして、令和1年度の活動計画についての進捗状況、活動要望アンケート

委員長 服部 邦彦



の取扱い等について協議しました。

また、今後エヌエヌ生命との業務提携の関係で会員の皆様に色々とお願ひ事などがあるかと思っておりますので、その節はよろしくお願ひいたします。

情報ネットワーク委員会活動報告

各委員会との共催で、中村会長とシマ会計の植島先生の事務所事例紹介の講演をしていただきました。両事務所とも中村会長や島元先生の事務所経営の考え方が表現された非常に中身の濃い研修となりました。連合会関連では、「10年後の求められる税理士事務所となるために」というテーマで、全国の情報ネットワーク委員会の先生が講

委員長 久保 且佳



師となり各単位会でディスカッション形式のセミナーを開催しています。私も札幌と広島、東京の研修会パネラーとして参加してまいりました。

システム開発委員会活動報告

システム開発委員会では、大きな担いが2つほどございました。

一つは、連合会において全国統一研修会の第一分科会を担当させていただきました。

もう一つは、「製販分離と担当制を比べてみる」というタイトルで、分業制と多くの

委員長 島元 宏忠



事務所が採用している担当制の比較検討をする場を催しました。

研修委員会活動報告

登録後または独立開業後5年以内の先生を対象とした事務所経営に関する勉強会、意見交換会である「ポプラの会」ですが、たいへん好評のため札幌以外での開催のご要望が多かったことから、11月21日に旭川市障害者福祉センターおびつにて5名の先生をお迎えして開催しました。

当日はいろいろな意見交換ができ、大変

委員長 浦田 敏 仁



有意義な会となりました。

札幌、旭川以外での開催も検討しておりますので、是非という方は事務局までご連絡いただければと思います。

広報委員会活動報告

今年の総会、統一研修会と函館の先生方にはご協力いただき本当にありがとうございます。

悠久の大地の年2回の発行も無事達成できました。また、チャンネル8月号については税理士法人浜津会計事務所様、小作先生、MJSの社員様のご協力が無事発行できました。ご協力重ねて感謝いたします。

平成30年度から始めたライラック通信も

委員長 大西 啓 二



今年は3回発行出来ました。

今後も悠久の大地、チャンネル、ライラック通信を通じて皆様に意義ある情報を提供いたしたいと思っております。皆様もご要望をお出し頂けると助かります。

「第45回定期総会 北見大会参加のお誘い」

北見地区会会長 服部 邦彦



来年開催の第45回定期総会は北見地区で開催されることとなりました。前回は平成26年7月に北見市で開催しました。今回は、今年10月の「全国統一研修会函館大会」開催の関係で一年ずれ込みまして6年ぶりの開催です。

料理等につきましては全く心配していませんが、あまりぱっとしたタレントがこの地

区にはおりませんので、アトラクションの選定が少し心配ですが、北見地区会の会員の総意でしっかり準備したいと思っております。

また、オホーツクは他の地区に比べて交通の便が少々悪いいため参加する会員の皆様にはご不便をおかけすると思っておりますが、多くの皆様の参加を期待しております。

地区会だより



札幌地区会

会長 島元 宏忠

札幌地区会では、弊社の会議室にて、「製販分離と担当制を比べてみる」というタイトルで、弊社で採用している分業制と、多くの事務所が採用している分業制を比較検討する場を催しました。アンケート結果は好評で、他の事務所がどのように運営されているかを聞ける場がもっとあると良いと思えました。



▲札幌地区会定期総会の様子



製販分離と担当制の研修会の様子▶



旭川地区会

会長 園田 直之

今年度の旭川地区会の活動ですが、役員会を6月5日、定期総会を6月25日に開催しました。11月21日には、第3回税理士勉強会「ポプラの会」を参加者5名のもと開催しました。又、例年のように年末調整等の研修会も開催しました。

今後とも(株)ミロク情報サービス、北海道ミロク会計人会との連携を図りながら会員のための活動を行っていきたいと考えております。



▲旭川地区会定期総会の様子



ポプラの会の様子▶



北見地区会

会長 服部 邦彦

今年度の北見地区会の活動ですが、6月27日には役員会を開催し8月5日に網走市で定期総会を開催いたしまして(参加者が少なく、レクのゴルフ・パークゴルフとも開催出来なかったのが残念です)楽しく懇談した次第です。研修につきましては担当の川江会員の努力と札幌支社の協力により、11月19日に「ここだけは押さえておきたい改正民法」と題しまして弁護士の金澤大祐先生による研修が行われ、例年のように年末調整等の研修も開催されております。



▲北見地区会定期総会の様子

今後も会員のための活動を目指してまいりたいと考えております。

帯広地区会活動報告

会長 本庄 雅人

本年度の帯広地区会の活動ですが、4月24日に定期総会を開催致しました。

11月11日に「明日から使えるシリーズ」第1弾としてフィンテック機能について、職員の実務に直結する研修を実施致しました。今後もこの方向で研修を実施したいと思っております。

12月4日には意見交換会と忘年会を開催致しました。意見交換会の前に「AI監査支援」と「RPA」について(株)ミロク情報サービス様に情報提供いただき、それについて質疑応答をしました。その後全国統一研修会のDVDを見ながら和やかに忘年会を開催致しました。今後も会員間の親睦を図り、

業務向上に役立つ活動を実施したいと思っております。



▲帯広地区会定期総会の様子

函館地区会

会長 石塚 尚史

今年度は、当地函館において、7月に第44回北海道ミロク会計人会定期総会に加えて、10月にはミロク会計人会連合会主催第44回全国統一研修会函館大会が開催されるという記念すべき年となりました。

特に、全国統一研修会は、過去最高の参加人員ということもあり、大いに盛り上がり、また、全てにわたって成功裡に終了したとのご報告もありました。

ご尽力いただきました会員の諸先生並びに、事務局スタッフに対しまして改めて深く感謝申し上げます。

この貴重な経験を糧に、函館地区会におきましても、更なる会活動の活性化に努めてまいる所存であります。



函館地区会定期総会の様子▶

苫小牧・室蘭地区会

会長 工藤 一康

今年度の苫小牧・室蘭地区会の活動ですが、定期総会が6月3日に中原会長(現直前会長)・札幌地区会の島元会長・MJSから内山支社長代理をはじめ6名をお招きして総勢14名で開催いたしました。

令和2年1月17日に武田先生を招いて「近年の相続税(民法)及び相続税法等の改正の実務解説」の研修を行う予定です。このような研修等を通じて新規会員の拡大と地区会の会員との交流や活性化を図っていきたいと思います。



▲苫小牧・室蘭地区会定期総会の様子

第三回ボプラの会

旭川開催

日時：令和元年11月21日(木) 15時~17時
場所：障害者福祉センター おびつた
テーマ：事務所運営について
講師：(税) 中央総合会計 井内敏樹先生
(税) 北前会計 中村泰道先生
(税) 北海道みらい 園田直之先生
浦田敏仁税理士事務所 浦田敏仁先生

PICKUP

井内先生の新規顧客獲得方法

Q. 新規顧客獲得について教えてください
A. 営業はしていません。相手から聞かれるまで言わないようにしています。

無料セミナーの開催 顧問先が数件しかない時期から、年に1回無料でセミナーを行っていました。5~6人しか来ないこともあり、知り合いに声をかけて数名連れてきてもらい最低10名くらいは集客して開催していました。そのセミナーは現在も続いており、延べ30回以上開催しています。現在では1回に50名くらい集まるようになりました。



Q. セミナー講師はどなたに依頼しているのですか?
A. 1年目は私が行い、2

Q. テーマはどのようなものでしょうか?
A. 人事関係、セクハラ問題や、有名なコメントターの方をお呼びすることもあります。

講演・講師依頼の快諾 開業から現在まで、頼まれた講演・講師は断らず引き受けています。全くの専門外でも、受けてから勉強して対応しています。というのも、広告や営業活動でつられてきたお客さんは、いずれ別の営業につられて離れていきます。ですが、事務所カラーに惹かれたお客さんは必ず残ってくれます。また、平日は家で食事することが月1回もないくらいに合合にも出席しました。本当はそういう場合は苦手なのですが、妻からはあなた合合が好きね、と言われました(笑)。そういう場でコミュニケーションをとった方が、10年後に依頼をしてくる、ということもありました。

ホームページの活用 相続関係の依頼は年に1回くらいあります。なぜうちの事務所に?と



年目以降は知り合いの司法書士や弁護士、最近では東京から講師を連れてきたりもしています。予算は会場費込みで50万円位です。

職員が持ち回りで担当しているのですが、たまに講師費用がかさんで70万円でも良いかと確認されることがありますが、そういうときも職員の主体性を重視してOKを出すようにしています。

尋ねると、皆さんホームページを見て、と答えます。相続関係で依頼する事務所を探す方は、色々なホームページを見て依頼先を絞っています。ホームページを持たない事務所は多いようですが、今の時代は名刺代わりにでも、スマートフォンで見ることが出来るホームページは必須だと思います。

職員の採用について ホームページで常に募集をかけています。良い人材がきたら、余っても積極的に採用する方針です。この売上だからこの人数で、という経営の仕方だとその事務所は伸びないかもしれないですね。自分の所得は減ってしまいますが(笑)。個人事務所のときは6名の職員も合わせて私の所得が3、4番目、ということもありました(笑)。





突然の
事業承継。
その時、
保険が力になる。

— 有限会社 古田商会
取締役 古田千賀子

本当に突然でした。

主人が亡くなったのは。

昼までは普通に仕事をしていたのに、

夜に倒れてそのまま。

まさか主人が亡くなるなんて考えもせず、

会社を継ぐ準備も一切していませんでした。

それでもすぐに、

店は開けようと思ったんです。

店は主人にとって

一番大切なものでしたから。

主人がなくなりあげた取引先を守れるのか

不安もあるけれど、

これからも店は大事に

育て続けていきたいです。

「ほら、がんばってるよ」って。

見せられるように。

突然の事業承継。

それはだれにでも起こりうるもの。

もしもに備えて保険にできることはないか。

みなさまとともに考え、

日本の中小企業をサポートし続ける。

それが私たち、エヌエヌ生命です。



NN

中小企業サポーター

エヌエヌ生命